

一 般 質 問 通 告 事 項

(令和5年第1回白岡市議会定例会)

第1通告者

15番 遠藤 誠 議員

- 1 よりそうのは行政でも葬儀屋でもなく市民、国民ではないのか
 - (1) 何故白岡市では有力な子育て団体ができないのか。
 - (2) よりそうを市が請け負う傾向を市ではどう考え、これからどうするのか。
- 2 新しい農業の計画について
 - (1) 市内の農業の実態を市民に知らせるべきではないか。
 - (2) 実態を踏まえた新しい農業計画を作るべきではないか。
- 3 政策に緑を
 - (1) 持続可能な市民の自然観を作る必要があるのでは。
 - (2) 組織に「自然とは何なのか」という問いを。
 - (3) 大山小学校で自然環境教育を。

第2通告者

2番 中村 匡志 議員

- 1 「保育所等における使用済みおむつの処分について」(令和5年1月23日付け厚生労働省・内閣府事務連絡)について
 - (1) 当該事務連絡発出前における市内の公立保育所、私立保育所及び小規模保育事業(以下、「市内保育園」という。)における使用済みおむつの処分の現況を伺う。
 - (2) 市内保育園のうち、公立保育所の使用済みおむつのみが蓮田白岡衛生組合による公共的回収の対象とされている理由を伺う。
 - (3) このような運用は不公平であるとの声があるが、行政における平等原則(憲法第14条)もふまえると、どのように考えるか。また、『第6次白岡市総合振興計画』に掲げられた「子育て支援の充実」(政策目標3施策1)の方針にも反するのではないか。
 - (4) 当該事務連絡の実施にあたり、関係機関・部局の情報共有や連携体制はできているのか。とりわけ、保育課・環境課・蓮田白岡衛生

組合の間の連携体制はどのようなものか。

- (5) 当該事務連絡は既に市内保育園に周知されたとのことだが、当該事務連絡の推奨（2の2点目）に従い使用済みおむつの処分を変更する市内保育園に対して、市はどのような補助を行うのか。事務連絡2の3点目に「保管スペースの確保や衛生面の管理が課題となる場合等には、『保育環境改善等事業』（感染症対策のための改修整備等事業）（参考2参照）により、使用済みおむつの保管用ゴミ箱の購入等の費用の補助を行うことが可能であるため、積極的にご活用いただきたい」とあることをふまえて伺う。
- (6) さらに、すべての市内保育園に対する恒久的な市の支援体制について伺う。特に、すべての市内保育園に対する公共的回収の実施を行っていただきたいが、いかがか。

第3通告者

6 番 関 口 昌 男 議員

- 1 ゼロカーボンシティ宣言と環境問題への取組について
- (1) これまでの環境問題への取組は。
 - (2) 国際的課題である環境問題と国の取組の問題点は。
 - (3) ゼロカーボンシティ宣言の表明と実行計画の作成を。
 - (4) 区域施策というべき市民向けの施策の展開の実態について。
 - (5) 今後の事業の中で先進例として取り上げる事業はないか。
 - (6) 白岡市地球温暖化対策実行計画の区域施策編の課題は。
 - (7) 「第3次白岡市地球温暖化対策実行計画」の策定をめぐる課題は。
 - (8) 市長に取組の決意を伺う。
- 2 白岡市パートナーシップ宣誓制度の運用について
- (1) 白岡市パートナーシップ宣誓制度の運用について。
 - (2) どのような内容を広報しているのか。
 - (3) 都市間連携はどのようなになっているのか。
 - (4) パートナーシップ制度でできることは何か。
 - (5) その他の適用はどのような内容か。
 - (6) 国の制度改正に向けての働きかけは。

第4通告者

8番 中山 廣子 議員

1 インフルエンザ予防接種について

- (1) 高齢者の予防接種の種類と対象者、助成額を伺う。また、その対象者数、実績は。
- (2) インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行が懸念されている。インフルエンザの予防には、ワクチンの接種が有効である。高齢者だけではなく、インフルエンザ予防接種に助成をしてはどうか。

2 ペット防災の取組について

- (1) 現在、ペット防災について行っていることを伺う。
- (2) 現在の犬の登録数と犬のしつけ方教室の開催状況、これからの取組について伺う。
- (3) 災害時に動物病院との連携が必要と考え、平時より協力体制を整えるべきとの質問に対し、「幸手保健所管内狂犬病予防連絡協議会において、提案して、協議していく」とのことだった。その後の経過を伺う。
- (4) ペットの防災訓練を行ってはいかがか。また、今後ペット防災の取組をどのように進めていく考えか伺う。

3 防犯対策について

- (1) 昨今、住民を巻き込む凶悪犯罪が多発しているが、市としてはどのような防犯対策をしているか伺う。
- (2) 防犯カメラの設置について伺う。

第5通告者

5番 山崎 巨裕 議員

1 防犯灯等LED化事業について

- (1) 夜道が明るくなったという市民の声を聞くが、そのような声は市に届いているか。
- (2) 本年度予算で2億2千万円の費用が計上されたが、実際の経費はいくらだったか。
- (3) LED化により電力を60%削減できるとのこと、かかった経費

は何年後に解消できるのか。

(4) 防犯灯等LED化事業の電力60%削減は、地球温暖化防止対策として優れた取組だと考えるが、いかがか。

(5) LED化していない他の公共施設についてLED化の予定はあるか。

2 「生活保護のしおり」について

(1) 「生活保護のしおり」を市公共施設の閲覧棚に置いていただきたい。また、「生活保護のしおり」を市ホームページに掲載していただきたいが、いかがか。

(2) 「生活保護のしおり」3ページ、最後の文の文末「照会を見合わせることもあります」を「照会を行わない」等、誤解を招かない表現に変更していただきたいが、いかがか。

第6 通告者

3 番 野々口 眞由美 議員

1 中学校の自転車通学について

2020年12月議会の一般質問で取り上げてから2年が経過した。保護者からの要望は多いが、未だに実施されていない。

そこで、現状を伺う。

(1) その後の進捗状況

(2) 実施に向けた取組

2 新白岡スーパーシティプロジェクトについて

このプロジェクトの目的は、新白岡駅周辺地域を将来にわたって持続的に発展させるため、先進的な制度の導入や先端技術の実装などにより、「まちの価値」を向上させる新たなまちづくりを行う取組を推進していくことだとされている。そこで、どのようにまちの価値を向上させるのか具体的な取組について伺う。

(1) 新白岡駅周辺地域は現在、どのような問題や課題があるのか。

(2) どのように課題解決を目指すのか。特に地域DXについて伺う。

(3) 埼玉県からどのような支援が受けられるのか。

(4) DX推進の一つとして、デジタルな空間における地域住民との意

見交換のプラットフォームの導入を図ってはどうか。

(5) このプロジェクトにかかる市長の意気込みを伺う。

第7 通告者

13番 細井 公 議員

1 西地区の危険箇所の安全対策について

衝突事故の危険がある交差点がある。スクールゾーン指定、信号機の設置要望を含めた安全対策を求めたいがいかがか。

2 マンホールのカラー蓋の活用について

マンホール蓋は設置費用も比較的少額で済み景観のシンボルとしての効果、若者の誘致による経済効果を考え導入も一案と思うがいかがなものか。

第8 通告者

7番 松本 栄一 議員

1 ゾーン30エリアの強化について

警察庁は2020年に、全国で発生したすべての人身事故のデータを「交通事故統計情報」として公開を始めた。現在、2019年から2021年までの計約100万件分が掲載されている。朝日新聞社で当データを分析した結果、小・中学校や高校の近くの生活道路にある229か所の交差点で3年連続で事故が起き、1,140人がけがをしていたとのことである。警察庁は、市街地の事故対策として、「ゾーン30」の導入を促しているが、指定されていたのはこのうち19か所であった。

(1) 当市でも「ゾーン30」の指定があるが、その地域での人身事故の発生状況は。

(2) 「ゾーン30」の導入は、地域全体が規制の対象となるなど、使い勝手の悪さもあり、前述の229か所の9割にあたる210か所は指定されていなかったが、当市でも同様の事案は発生していたか。
また、これから指定される地域はあるか。

(3) 「ゾーン30」の指定は、行政区や学校関係者等の要望から始まり、警察への手続きも必要で、地域を指定するのに時間を要する。

現在、「交通安全」や「通学路注意」などの幟旗があるが、その一つを「ゾーン30・スピード注意」等に変更し、ドライバーへの注意喚起に活用できないか。

2 水道管の管理について

厚生労働省は、老朽化した水道管の更新を円滑に進めるために2019年度に水道法を改正して、2022年9月末までの「水道施設台帳」の作成を義務化した。その際、全国1,403の水道事業者を対象に、2020年3月時点の状況を調査したが、277事業者が未整備やあまり整備していないと回答した。2021年3月に群馬県甘楽町で老朽化が原因で水道管が破裂、道路が水浸しになり、同年4月には福島県いわき市でも老朽化により水道管が破裂して道路が陥没している。

- (1) 水道施設台帳は、水道管の口径や長さ、設置時期を記した書類と管や施設の位置を示した図などで構成される。改正水道法における水道施設台帳の作成期限は2022年9月末であったが、整備状況を伺う。
- (2) 厚生労働省は、簡易な水道施設台帳の電子システムの導入に関するガイドラインを作成して導入を促進しているが、検討したのか。また、完全実施済みか。
- (3) 現在、彦兵衛第一行政区のあけぼの団地内で水道管の交換工事中だが、水道施設台帳の管理の基で行っているのか。これにより管理は十分か。また、当該地域は老朽化した水道管なのか。

第9 通告者

12番 中川幸廣 議員

1 歩行者の安全確保を

昨年、白岡2新田地区の神田商店付近で、散歩中の歩行者が車両にはねられ死亡する事故が発生している。その付近の住民から「あそこの横断歩道は夜になると暗い！」との苦情があった。私は関係課に事故の原因と対応をお聞きしたが、警察と打合せをするとのことであった。以下その結果を伺う。

- (1) 事故の概要。
 - (2) 事故の原因と対処。
 - (3) 同様の危険な箇所はないのか。
- 2 重度訪問介護について

重度訪問介護について伺う。

- (1) 重度訪問介護の対象者とサービス内容は。
- (2) 市内には何人の対象者がおられるのか。
- (3) 対象者への訪問介護の実態はどのようなものか。

第10 通告者

9 番 菱 沼 あゆ美 議員

1 安心安全の強化について

- (1) 火災における初期消火に役立つ機材として、簡易水道消火栓の設置をすすめてはどうか。
- (2) 災害井戸の必要性があると考えます。マンホールトイレ7箇所の工事が完了しましたが、各設置箇所での水洗用の水の確保はどうなっているか。生活用としての井戸水を活用することは考えていないか。
- (3) 地域防災とコミュニティ作りなどの効果を高める取組として、「無事ですタオル」の普及に力を入れてはどうか。

2 生きる支援（自殺対策）について

- (1) メンタルヘルスチェック「こころの体温計」の利用状況や傾向を伺う。
- (2) 一人でも多くの方が、悩みを抱えた人への気づきをできるように、ゲートキーパー研修の裾野を広げてはどうか。また、学校においての「SOSの出し方教育」の取組状況を伺う。
- (3) 市役所各課の窓口で、「つなぐシート」を使って必要な支援に橋渡しをしていく取組はできているか。できているなら、どのように活用をしているか。
- (4) プライベート空間である個室トイレに「相談カード」を設置してはどうか。民間の様々な店舗にも協力依頼をしてはどうか。
- (5) 埼玉県は、「県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」を設立

した。白岡市がここに参加をすることは、必須なことと考えるが、いかがか。

3 若年がん患者への在宅療養支援について

若年がん患者（AYA世代＝思春期・40歳未満の世代）は、子育て世代とも重なり、6割以上が終末期の在宅療養を希望する。しかし、支援制度が無い状況である。市として、支援事業を実施すべきではないか。

第11 通告者 11番 加藤 一生 議員

1 現政府が述べた「物価上昇分を上回る賃上げの要望」について

白岡市内にも企業が存在する。よって

- (1) 現政府（岸田首相）が述べた「物価上昇分を上回る賃上げの要望」に関して、その中味を市としてはどのように理解しているか。
- (2) 自らもって範を垂れるべく、公務員の賃上げが想定されるが、それに関してはどうのような状況にあるか。
- (3) 公務員に対する動きが明確になるのは、いつ頃で、市としては、どう対応する予定か。

2 下水道及び道路の整備について、今まで継続して質問してきた事案の現況について

- (1) 下水道料金の段階的改正の現況は、遅滞なく推移しているか。
- (2) 白岡工業団地内への公共下水道延伸は、どのようなスケジュールで進んでいるか。
- (3) 下水道1の2号線の歩道化(蓋かけ工事)が間もなく完成するが、天使幼稚園方面から来る道路との結接部分の処理（横断歩道の設置等）はどうなるのか。

第12 通告者 16番 黒 須 大一郎 議員

1 インボイス制度への対応を問う

- (1) 一般会計は消費税の申告義務は無いが、インボイス制度の影響をどのように考えるのか。さらに以下のインボイス対応は。

ア 特別会計についてはどうか。

イ 電子インボイスによるバックオフィス業務のDX化（事業費の有無等）についてはどうか。

(2) 一般会計及び特別会計の取引先の多くは民間事業者が相手となる。その中で前々年度の課税売上高が1,000万円以下は免税事業者となるが、両会計合わせて免税事業者はどのくらいなのか。

(3) 市内事業者への影響（適格請求書発行事業者の対象事業者や免税事業者数等）をどう考え、支援策は。

2 篠津北東部地区の土地利用を問う

(1) 第6次総合振興計画での産業系土地利用検討ゾーンについて

ア 白岡中学校北側の土地利用の検討は、どうなっているのか。

イ (株) サラダボウルが土地開発を進めているエリアの県道を挟んだ東側エリアと隼人掘川の南側エリアは、どのような検討があるのか。

ウ 県道78号(春日部菖蒲)線の渋滞等の課題はどうなったのか。

3 篠津押出志部地区の道路等基盤整備を問う

(1) 本地区の人口等の現状は。

(2) 本地区の県・市道には、未歩道で排水溝等が無い箇所や未舗装が数多くあり、陳情や要望がでている。道路等基盤整備の状況は。

(3) 本地区の道路等基盤整備の見通しは。

第13通告者

1番 石渡征浩 議員

1 子育て支援の取組について

(1) 婚姻夫婦・子育て世帯の支援ニーズを把握しているか。ニーズの多い上位3項目は何か。

(2) 18歳までの医療費の助成以外に無料化の取組を検討、又は、計画しているか。

仮に、保育料、学校給食費、公共施設利用料、おむつなどを無料化した場合に財政に与えるインパクトは、どれほどか。

(3) まちづくりの中での子育て支援策の位置付け（優先順位）は。

2 フレイル予防について

- (1) フレイル予防のための取組の現状は。
フレイル予防をより効果的にするためには、何がポイントと考
えているか。
- (2) 効果的な事例を市内全域の行政区にヨコ展開してはどうか。
- (3) 白岡市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画に盛り込むべき
と考えるが。

第14通告者

17番 石原富子 議員

1 白岡市の障害者支援策について

- (1) 「白岡市心をつなぐ手話言語条例」が令和2年6月に施行された
が、その後の具体的な取組と成果を伺う。
ア どのように活用されているか。
- (2) 視覚障害者向けの支援はどのように行われているか。
- (3) ありの実館・東ありの実館に対する支援策は何か。
- (4) 障害者施設で製造した商品を、市役所内で販売をしているが、地
下の休憩室ではなく1階のロビーで市民に買ってもらってはどうか。
- (5) 白岡市全体、市役所内での合理的配慮の実践はなされているか。
- (6) 共生社会の実現に向けて、市は何を重点に取り組むのか。

第15通告者

14番 大島 勉 議員

1 白岡宮代線の延伸について

- (1) 宮代町との協議はどのように進んできたか。
- (2) 延伸には赤砂利橋架け替えが必須だが、その計画の進捗は。
- (3) 今後の進め方は。